

HX-850

ver1.10

HD/SD-SDI オーディオプロセッサユニット

仕様書

株式会社 フォービット

仕 様

HD/SD-SDI 入力回路

SDI 入力信号	: SMPTE 292M/259M-C
エンベデッドオーディオ	: SMPTE 299M/272M
分解能	: 24bit/20bit
サンプリング周波数	: 48kHz
系統数	: アンバランス1系統
入力レベル	: 800mV ± 10%
入力インピーダンス	: 75
コネクタ	: BNC

HD/SD-SDI スルー出力回路

出力信号	: リクロック アクティブスルー出力
系統数	: アンバランス 1系統
出力レベル	: 800mV ± 10%
出力インピーダンス	: 75
コネクタ	: BNC

HD/SD-SDI 出力回路

出力信号	: SMPTE 292M/259M-C
エンベデッドオーディオ	: SMPTE 299M/272M
分解能	: 24bit
サンプリング周波数	: 48kHz
系統数	: アンバランス 2系統
出力レベル	: 800mV ± 10%
出力インピーダンス	: 75
コネクタ	: BNC

デジタル入力回路

系統数	: AES-3id 8系統
サンプリング周波数	: 48kHz(マスターとなるシンクソースに選択時) 32k ~ 48kHz(マスターとなるシンクソースに選択時以外)
入力インピーダンス	: 75 (75 終端 OFF SW あり)
コネクタ -	: BNC

デジタル出力回路

系統数	: AES-3id 8系統
サンプリング周波数	: 48kHz
出力インピーダンス	: 75
コネクタ -	: BNC

アナログ モニター出力回路 (標準電源仕様のみ)

系統数	: ステレオ L/R 1 系統
出力レベル	: +4dBu ± 0.5dB
コネクタ	: XLR タイプ 3P オス座

ヘッドフォン出力回路

系統数 : ステレオ L/R 1 系統
 出力レベル : MAX90mW/32
 周波数特性 : 100 ~ 15kHz ±2.0dB
 コネクター : 6.3 ステレオジャック

外部同期入出力(VIDEO IN / WORD IN / AES IN / WORD OUT)

系統数 : 各 1 系統
 コネクター : BNC
 VIDEO 入力 : NTSC/PAL コンポジットビデオ (NTSC/PAL は自動判別)
 WORD 入力 : 300mV ~ 5V p-p 75 48kHz
 AES 入力 : AES-3id 信号 300mV ~ 5V p-p 75
 WORD 出力 : 1.0V p-p 75 48kHz

リモートコントロール回路 (標準電源仕様のみ)

コントロール方式 : RS-422 準拠シリアルコントロール 1 系統
 転送レート : 38.4kbps
 ストップビット : 1 ビット
 パリティ : 奇数パリティ
 コネクター : Dsub 9P メス座 (M2.6 ミリ ネジ)
 ピンアサイン :

Pin No.	信号名	Pin No.	信号名
1	フレーム GND	6	GND
2	RS-422 受信 -	7	RS-422 受信 +
3	RS-422 送信 +	8	RS-422 送信 -
4	GND	9	フレーム GND
5	ファクトリー使用		

重要: 外部機器と接続する場合、5番ピンは未接続(オープン)としてください。

アラーム出力 / GPI 入力回路

出力回路 : リレー接点出力 2 系統 (アラーム発生時、メイクとパルス)
 コネクター : Dsub 9P メス座 (M2.6 ミリ ネジ)
 ピンアサイン :

Pin No.	信号名	Pin No.	信号名
1	ALARM メイク動作 リレー-COM	6	ALARM メイク動作 リレー
2	ALARM パルス動作 リレー-COM	7	ALARM パルス動作 リレー
3	グラウンド	8	GPI - 1 入力
4	GPI - 2 入力	9	GPI - 3 入力
5	GPI - 4 入力		

GPI 入力はグラウンド(3ピン)と接続(ショート)することにより ON と判断されます。

電源部、その他

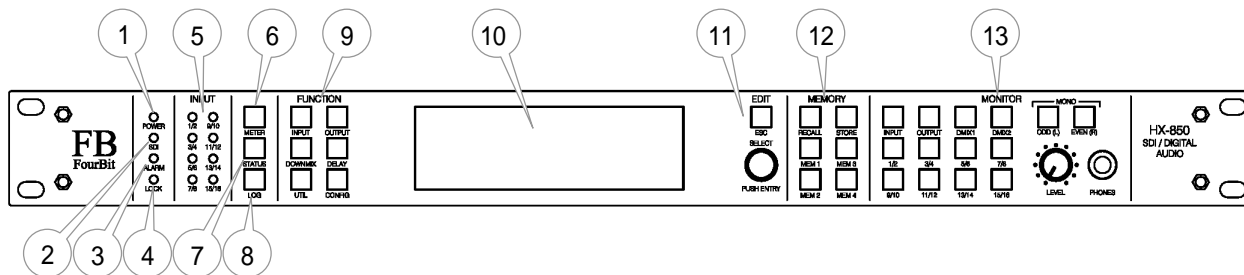
電源電圧	: AC100 ~ 240V、50/60Hz (海外安全規格は取得していません)
コネクター	: 3P AC インレット
消費電力	: 13W
外形寸法	: 482(W) × 44(H) × 300(D) (突起物を含まず)
重量	: 5kg (電源ケーブルを含まず)
動作温度湿度範囲	: 5 ~ 40、40 ~ 85% (但し、結露なきこと)
オプション	: 2重化電源。2系統の電源を有します。

注意

本機は、LOG記録用のリアルタイムクロックIC用として、コイン型二酸化マンガンリチウム電池を使用しております。電池が消耗した場合、電源投入時にリアルタイムクロック時間がクリアされ、LOG記録での記録時間が実時間と異なってしまいますので、4～5年をメドに電池交換を行なう必要がありますので、その際は、当社にご連絡くださるようお願いいたします。

各部の名称と機能

フロント側



1. [POWER] LED

電源監視 LED です。

緑点灯 : 正常。

橙点滅 : 2電源仕様の場合、POWER 1の電源入力異常。

緑点滅 : 2電源仕様の場合、POWER 2の電源入力異常。

2. [SDI] LED

SDI 入力の状態表示 LED です。

緑点灯 : HD-SDI 信号が正常入力

橙点灯 : SD-SDI 信号が正常入力

赤点灯 : SDI 入力エラー

消灯 : SDI 信号入力なし

3. [ALARM] LED

アラーム発生し、LOG 記録された場合に赤点灯します。又、アラーム発生直後の3秒間は赤点滅します。LOG 情報は、電源 OFF 状態でも保持されますので、エラーLOG がある場合は、電源 ON した時に、[ALARM]LED が点滅 点灯します。

4. [LOCK] LED

音声信号の LOCK 状態を表示します。

緑点灯 : 正常に LOCK している。

赤点灯 : UNLOCK 状態。

橙点灯 : インターナルクロック動作している。

5. [INPUT : 1/2, 3/4, 5/6, 7/8, 9/10, 11/12, 13/14, 15/16] LED

AES-3id オーディオデータの入力状態を表示します。

緑点灯 : 正常な音声データが入力されている。

赤点灯 : 音声データが UNLOCK、または、AES/EBU でのパリティエラーがある。

6. [METER]

METER 表示モードになります。エンコーダー操作か、METER スイッチを押すたびに表示内容が切り替わります。ZOOM 表示レンジは ± 2 dB で、ピークホールド表示は行なわれません。

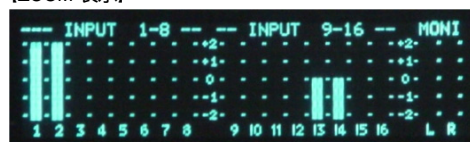
オーバーロード時には、下段のチャンネル名部分が反転表示になります(2秒間保持)

表示切換え順 : INPUT OUTPUT DOWNMIX 1/2 INPUT ZOOM
OUTPUT ZOOM DOWNMIX 1/2 ZOOM

[通常表示]



[ZOOM 表示]



7. [STATUS] スイッチ

GPI 入力 / REMOTE 送受信 / SDI 入力状態を表示します。

スイッチを押す度に [通常表示] と [SDI 入力ステータス表示] が切り換ります。

[通常表示]

```

--- STATUS ---          NEXT. SDI IN >>>
GPI 1-4 : XXXXX SDI UNIT : Ver 01
REMOTE Rx: 0 SDI FORMAT: 1080/59i
CMD: 00-00-00 AUDIO 1/2-7/8: ◇◇◇◇
  
```

[SDI 入力ステータス表示]

```

--- SDI INPUT ---      PREV. STATUS <<<
IN LOCK: S-◇ U-◇ H-◇ AUDIO G1-4: ◇◇◇◇
IN CRC : FF-◇ AP-◇
IN ERR : STD-◇ LNM-◇ CONTROL : A-◇ B-◇
IN C : CS-◇ CRC-◇ DBN : ◇◇◇◇
IN Y : CS-◇ CRC-◇ ECC : ◇◇◇◇
IN AV : SAV-◇ EAV-◇ PHASE : A-◇ B-◇
  
```

通常表示

- GPI 1-4 : 「」 = 接点メイク、「x」 = 接点ブレイク
- REMOTE Rx : 受信データカウント表示 (標準電源仕様のみ有効)
- CMD : 最新の受信コマンド表示 (標準電源仕様のみ有効)
- SDI UNIT : 内蔵 SDI ユニットのバージョン表示
- SDI FORMAT : SDI 入力信号のフォーマット表示
- AUDIO 1/2-7/8 : SDI 入力信号からディマルチプレクスされたオーディオ信号の状態表示
「」 = 正常、「x」 = エラー

SDI 入力ステータス表示 「」 = 正常、「x」 = エラー、「-」 = 未入力 もしくは 検知せず

- IN LOCK : S SDI 入力 LOCK V 映像 V 信号 LOCK H 映像 H 信号 LOCK
 - IN CRC : FF フルフィールド CRC AP アクティブピクチャー CRC
 - IN ERR : STD SDI 入力フォーマット LNM ラインナンバー
 - IN C : CS 色度チェックサム CRC 色度 CRC
 - IN Y : CS 輝度チェックサム CRC 輝度 CRC
 - IN AV : SAV アクティブラインのスタート EAV アクティブラインのエンド
 - AUDIO G1-4 : エンベデッドされているオーディオグループ (G1 ~ G4) の有無
 - CONTROL : オーディオコントロールパケットの有無
 - DBN : データブロックナンバー
 - ECC : 誤り訂正コード
 - PHASE : 音声位相情報
- A は 9 ~ 12ch に入力側の状態
B は 13 ~ 16ch に入力側の状態

8. [LOG] スイッチ

LOG 情報の表示を行いません。 LOG 情報は、電源 OFF 時も保持されます。

LOG の記録は、MENU ファンクション「CONFIG」内の「LOG START」にて、電源 ON から何秒後に LOG 記録を開始するかを設定します。

「*」印のある項目は、ALARM 出力を伴うエラー情報になり、この LOG がある場合、[ALARM]LED が点灯します。

LOG をリセット (消去) する場合、[LOG] スイッチを 3 秒以上押し続けます。

エンコーダーを PUSH することにより、保存されている LOG 項目をページ送りしながら、確認することが可能です (ESC スイッチを押すことにより、画面が戻ります)。

```

--- LOG --- RESET = Pushed 3sec LOG Sw
2010-10-15 16:08.26 > CLK LOCK WORD
2010-10-15 16:08.26 > CLK CHANGE WORD
2010-10-15 16:08.10 >* CLK UNLOCK 9/10
2010-10-15 16:08.10 > LOG START !
  
```

記録される LOG は、リアルタイムクロック時間 (日付 / 時間) と共に下記項目が記録されます。

アラーム対象の LOG 項目

- OVER INPUT n ch : 入力信号のオーバーロード (n はチャンネル番号)
- OVER DMIX1 : ダウンミックス 1 のオーバーロード (は Lm or Rm)
- OVER DMIX2 : ダウンミックス 2 のオーバーロード (は Lm or Rm)

OVER OUTPUT n ch	: 出力信号のオーバーロード (n はチャンネル番号) オーバーロード認識レベルは、- 0.05dBFS 以上
MUTE INPUT n ch	: 音声入力されている状態から、ファンクション「UTIL」での SILENCE 設定時間での無音 (- 84dBFS 以下)を検知 (n はチャンネル番号)
DIGIN ERROR a/b ch	: デジタル信号が正常に入力されている状態から、パリティエラーまたは信号断を検知 (a/b はチャンネル番号)
DSP RESET	: DSP 動作異常で DSP リセットされた
CLK UNLOCK	: 同期信号が UNLOCK (は、選択されている同期信号種類)
POWER NG	: 電源異常 (は、NG となった電源系統)
SDI IN ERR 1	: SDI 入力映像系エラーログ 1 「 = 正常」「× = エラー」 左より EAV、SAV、ラインナンバー、輝度 CRC、色度 CRC
SDI IN ERR 2	: SDI 入力映像系エラーログ 2 「 = 正常」「× = エラー」 左より 輝度チェックサム、色度チェックサム、アクティブピクチャー CRC、フルフィールド CRC、入力フォーマット
SDI IN OFF	: SDI 信号が正常に入力されている状態から信号断を検知
SDI CHANGE	: SDI 入力信号のフォーマットが変化(は HD or SD)
HD AUD DBN	: HD データブロックナンバーエラー(は G-A or G-B or G-A/B) G-A = 9~12ch に入力側のエラー G-B = 13~16ch に入力側のエラー G-A/B = 9~12ch に入力側 + 13~16ch に入力側のエラー
HD AUD ECC	: HD 誤り訂正コードエラー(は G-A or G-B or G-A/B)
HD AUD PHA	: HD 音声位相情報エラー(は G-A or G-B or G-A/B)
SD AUD DBN	: SD データブロックナンバーエラー(は G-A or G-B or G-A/B)
SD AUD CSUM	: SD オーディオチェックサムエラー

アラーム対象外の操作での LOG 項目

LOG START !	: LOG 記録開始
MEM RECALL	: メモリーリコール操作 (は、MEM1~4)
MEM STORE	: メモリーストア操作 (は、MEM1~4)
CLK LOCK	: 同期信号が LOCK (は、選択されている同期信号種類)
CLK CHANGE	: 同期信号を変更 (は、新たに選択された同期信号種類)
POWER OK	: 電源正常
SDI INSERT	: SDI 無信号から信号入力を検知
SDI SYNC	: SDI の同期信号を変更(は、EMB or VIDEO)
SDI IN CHG	: SDI のオーディオ入力グループを変更(は、G1~G4)
SDI OUT CHG	: SDI のオーディオ出力グループを変更(は、G1~G4)

9. [FUNCTION] スイッチ群

設定関係のファンクションスイッチです。(詳細内容は「ファンクション」P6~8をご参照ください。)

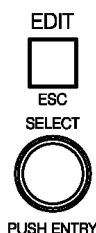
FUNCTION	[INPUT] スイッチ	: 音声入力レベルの調整。
<input type="checkbox"/>	[OUTPUT] スイッチ	: 音声出力レベルの調整。
<input type="checkbox"/>	[DOWNMIX] スイッチ	: ダウンミックス1/2の係数、及びサラウンドパス選択の設定。
<input type="checkbox"/>	[MATRIX] スイッチ	: 音声出力マトリクスの設定。
<input type="checkbox"/>	[UTIL] スイッチ	: 無音検知時間、BEEP、アラームリレーパルス出力時間、GPI 機能の設定。
<input type="checkbox"/>	[CONFIG] スイッチ	: MCLK、REF レベル、RTC などの設定。

10. 表示ディスプレイ

メーター、エラーログ、ファンクション設定等の表示を行いません。

11. [EDIT: ESC] スイッチ, [EDIT: エンコーダー]

ファンクションでの設定エディット時に使用するスイッチ / エンコーダーです。

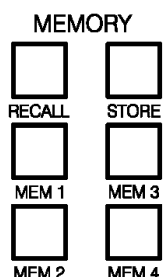


[ESC] スイッチ : エディット操作で、設定をキャンセルする場合押下します。エディット表示されている値と保存されている値が違う場合、照光スイッチが点灯します。

[エンコーダー] : エディット値変更や、エディット項目移動に使用します。プッシュにて、値の更新 / 移動項目確定されます。

12. [MEMORY] スイッチ群

4個のメモリーに対する呼出し / 保存を行ないます。



[RECALL] スイッチ : MEMORY モードを呼出しモードにします。

[STORE] スイッチ : MEMORY モードを保存モードにします。

上記のスイッチは、OFF ON動作は1秒のタイマースイッチ動作になります。(ON時 それぞれの自照スイッチ点灯します。)

その後の「MEM1~4」スイッチの ON 操作にて指定メモリーに対する動作を行ないます。

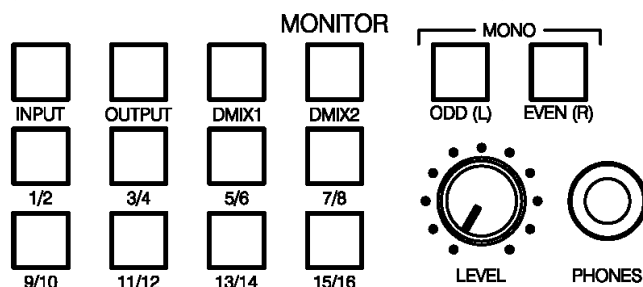
10秒間何も操作されない場合は、自動的に OFF になります。

[MEM 1~4] スイッチ : RECALL, STORE の MEMORY 先を指定します。

18.項 GPI -1~4 の接点入力によるメモリー呼出しも可能です。

13. [MONITOR] スイッチ群

入力、出力、ダウンミックス1 / 2のモニターを行ないます。



[INPUT] スイッチ : 音声入力(1 / 2 ~ 15 / 16チャンネル)の音声をモニターします。

[OUTPUT] スイッチ : 音声出力(1 / 2 ~ 15 / 16チャンネル)の音声をモニターします。

[DMIX1] スイッチ : ダウンミックス1出力の音声をモニターします。

[DMIX2] スイッチ : ダウンミックス2出力の音声をモニターします。

[1/2 ~ 15/16] スイッチ : 上記4ヶスイッチを選択後、モニターするチャンネルをアサインします。奇数 / チャンネルは Lch, 偶数チャンネルは Rch にアサインされ、複数チャンネルアサインされた場合は、そのままミックスされます。

[INPUT], [OUTPUT]でのソース選択は、個別に設定することが可能です。

[ODD(L)] スイッチ : 奇数(Lチャンネル)チャンネルにアサインされている音声のみモニターします。

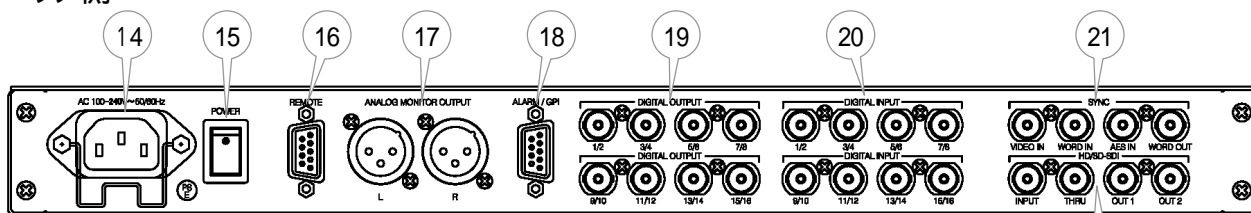
[EVEN(R)] スイッチ : 偶数奇数(Rチャンネル)チャンネルにアサインされている音声のみモニターします。

ファンクション「CONFIG」の MONI MONO 設定で、ヘッドフォンモニターの際に L / R 両チャンネル / 片チャンネルでのモニター選択が可能です。両チャンネル設定した場合、レベルは -6dB されます。

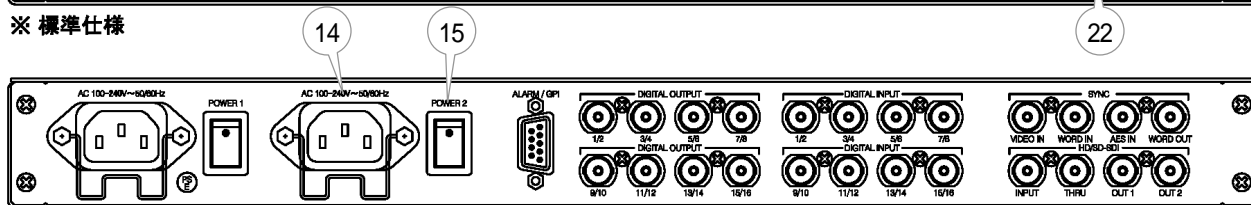
[LEVEL] ボリューム : ヘッドフォン出力レベル調整用のボリュームです。

[PHONES] ジャック : ヘッドフォン出力(ステレオ標準ジャック)です。

リア側



※ 標準仕様



※ 2重化電源仕様

14. AC インレット

AC100～240V 電源の入力端子です。
 オプション 2 重化電源装備の場合は、POWER 1/2 の 2 重化電源の接続が可能です。
 付属の電源コードを接続します。

15. 電源スイッチ

電源のオン/オフを行います。
 オプション 2 重化電源装備時は POWER 1/2 個別にスイッチが用意されております。

16. REMOTE コネクタ (2 重化電源仕様では削除されます。)

RS-422 準拠のリモート端子です。

ピンアサイン

Pin No.	信号名	Pin No.	信号名
1	フレーム GND	6	GND
2	RS-422 受信 -	7	RS-422 受信 +
3	RS-422 送信 +	8	RS-422 送信 -
4	GND	9	フレーム GND
5	ファクトリー使用		

重要： 外部機器と接続する場合、5 番ピンは未接続 (オープン) としてください。

17. アナログモニター出力 (2 重化電源仕様では削除されます。)

アナログモニター出力です。

18. アラームリレー出力 / GPI 入力 コネクタ

アラームリレー接点出力と、GPI - 1～4 接点入力の機能があります。

ピンアサイン

Pin No.	信号名	Pin No.	信号名
1	ALARM メイク動作 リレー-COM	6	ALARM メイク動作 リレー
2	ALARM パルス動作 リレー-COM	7	ALARM パルス動作 リレー
3	グラウンド	8	GPI - 1 入力: MEM1 リコール
4	GPI - 2 入力: MEM2 リコール	9	GPI - 3 入力: MEM3 リコール
5	GPI - 4 入力: MEM4 リコール		

GPI 入力はグラウンド (3 ピン) と接続 (ショート) することによる立下りエッジを捉えて動作します。

19 . デジタル出力[DIGITAL OUTPUT 1/2 ~ 15/16]

デジタル信号(AES3id)の出力端子です。

20 . デジタル入力[DIGITAL INPUT 1/2 ~ 15/16]

デジタル信号(AES3id)の入力端子です。

21 . 外部同期入出力[VIDEO IN, WORD IN, AES IN, WORD OUT]

VIDEO IN : NTSC/PAL コンポジットビデオ入力 (NTSC/PAL は自動判別)

WORD IN : 48kHz ワード入力

AES IN : AES-3id 入力

WORD OUT : 内部生成された 48kHz ワード出力

22 . HD/SD-SDI 入出力[HD/SD-SDI INPUT, THRU, OUT1, OUT2]

INPUT : HD/SD-SDI 入力

THRU : リクロック アクティブスルー出力

OUT1 : 音声処理後の HD/SD-SDI 出力 1

OUT2 : 音声処理後の HD/SD-SDI 出力 2 (OUT1 の反転出力)

ファンクション

[INPUT] ファンクション

音声の入力レベル調整をします。

- 「1～16」 : 各入力チャンネルのレベルを MUTE ~ +12dB までの調整が可能です。
エンコーダーを PUSH したまま調整すると設定値を 3dB ステップで調整するが出来ます。

```

--- INPUT LEVEL ---
1:  0.0  5:  0.0  9:  0.0 13:  0.0
2:  0.0  6:  0.0 10:  0.0 14:  0.0
3:  0.0  7:  0.0 11:  0.0 15:  0.0
4:  0.0  8:  0.0 12:  0.0 16:  0.0
  
```

[OUTPUT] ファンクション

音声の出力レベル調整をします。

- 「1～16」 : 各出力チャンネルのレベルを MUTE ~ +12dB までの調整が可能です。
エンコーダーを PUSH したまま調整すると設定値を 3dB ステップで調整するが出来ます。

```

--- OUTPUT LEVEL ---
▶ 1:  0.0  5:  0.0  9:  0.0 13:  0.0
2:  0.0  6:  0.0 10:  0.0 14:  0.0
3:  0.0  7:  0.0 11:  0.0 15:  0.0
4:  0.0  8:  0.0 12:  0.0 16:  0.0
  
```

[DOWNMIX] ファンクション

ダウンミックス1 / 2係数設定、L・C・R・Ls・Rs・LFE のバスアサイン設定をします。 [DOWNMIX]スイッチを押すたびに、1 / 2 系統が切替わります。

<pre> --- DOWNMIX 1 --- ▶ Lm/Rm: - 3.0 C : - 3.0 Ls/Rs: - 3.0 LFE : MUTE </pre>	<pre> NEXT DMIX2 >>> <L> <C> <R> IN 1 IN 3 IN 2 <Ls> <LFE> <Rs> IN 5 IN 4 IN 6 </pre>	<pre> --- DOWNMIX 2 --- Lm/Rm: - 3.0 C : - 3.0 Ls/Rs: - 3.0 LFE : MUTE </pre>	<pre> PREV DMIX1 <<< <L> <C> <R> IN 1 IN 3 IN 2 <Ls> <LFE> <Rs> IN 5 IN 4 IN 6 </pre>
---	--	---	--

「Lm/Rm」 : ダウンミックスのトータルレベル調整

「C」 : サラウンド センターチャンネルのミックスレベル調整

「Ls/Rs」 : サラウンド リアチャンネルのミックスレベル調整

「LFE」 : サラウンド サブウーハーチャンネルのミックスレベル調整

各係数(レベル)は、MUTE ~ +12dB までの調整が出来ます。

エンコーダーを PUSH したまま調整すると設定値を 3dB ステップで調整するが出来ます。

「L/C/R/Ls/Rs/LFE」 : ダウンミックスを行なうサラウンド入力信号のアサイン設定を行いません。
アサイン設定が[400 または、1kHz]に設定された場合、他の MENU 選択している時には、
[DOWNMIX]スイッチの LED が点滅します。

注意) 本機のダウンミックス LFE チャンネルへの LPF 機能はありません。

[MATRIX] ファンクション

音声出力信号選択を行ないます。

「1～16」：各出力チャンネルの信号を選択します。

IN1～16	=	INPUT 1～16
400	=	400Hz 発振器
1kHz	=	1kHz 発振器
DM1L/DM1R	=	ダウンミックス1出力
DM2L/DM2R	=	ダウンミックス2出力



アサイン設定が[400 または、1kHz]に設定された場合、他の MENU 選択している時には、[MATRIX]スイッチのLEDが点滅します。

[UTIL] ファンクション

無音検知時間、BEEP 発音時間、アラームパルス出力リレーのパルス時間、SDI 入出力を設定します。



「SILENCE TIME」：無音検知時間を設定します。OFF 設定時は無音検知は行われません。

「BEEP」：アラーム発生時の BEEP 発音時間を設定します。OFF 設定時は発音しません。

「ALARM PULS」：アラーム発生時のパルス出力リレーの ON 時間を設定します。OFF 設定時は、パルス出力は動作しません。

「SDI ERR CHK」：SDI 入力信号のエラーチェックを行うか否かを設定します。OFF 設定時は、SDI 入力信号のエラーにてアラーム出力とログ記録が行われません。

「INPUT 9-16」：入力チャンネル 9～16ch に割り当てる信号を選択します。

DIG = デジタル入力選択
SDI = HD/SD-SDI 入力選択

「HD-SDI SYNC」：HD-SDI 入力時の音声同期モードを選択します。

EMB = 位相情報による同期(推奨)
VIDEO = 映像信号による同期

「SDI IN」：SDI 入力から取り込むオーディオグループを選択します。

「SDI OUT」：音声をマルチプレクスするオーディオグループを選択します。

[CONFIG] ファンクション

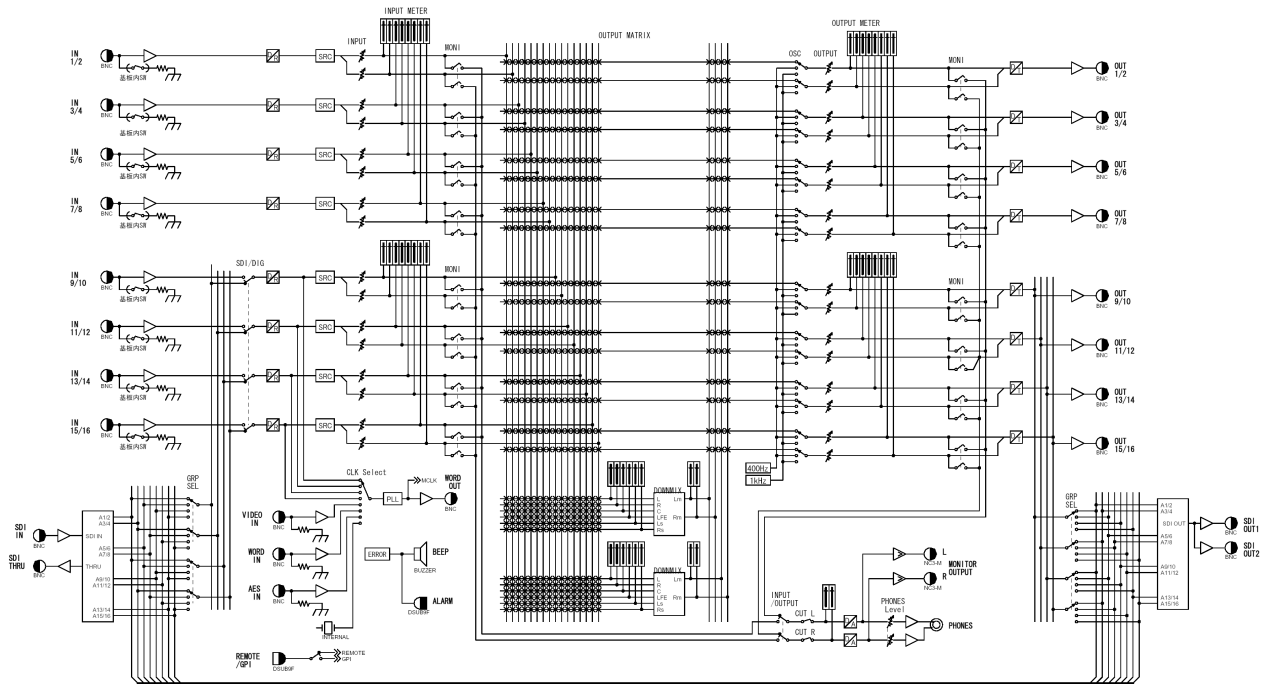
基本動作設定とバージョン表示を行ないます。

```

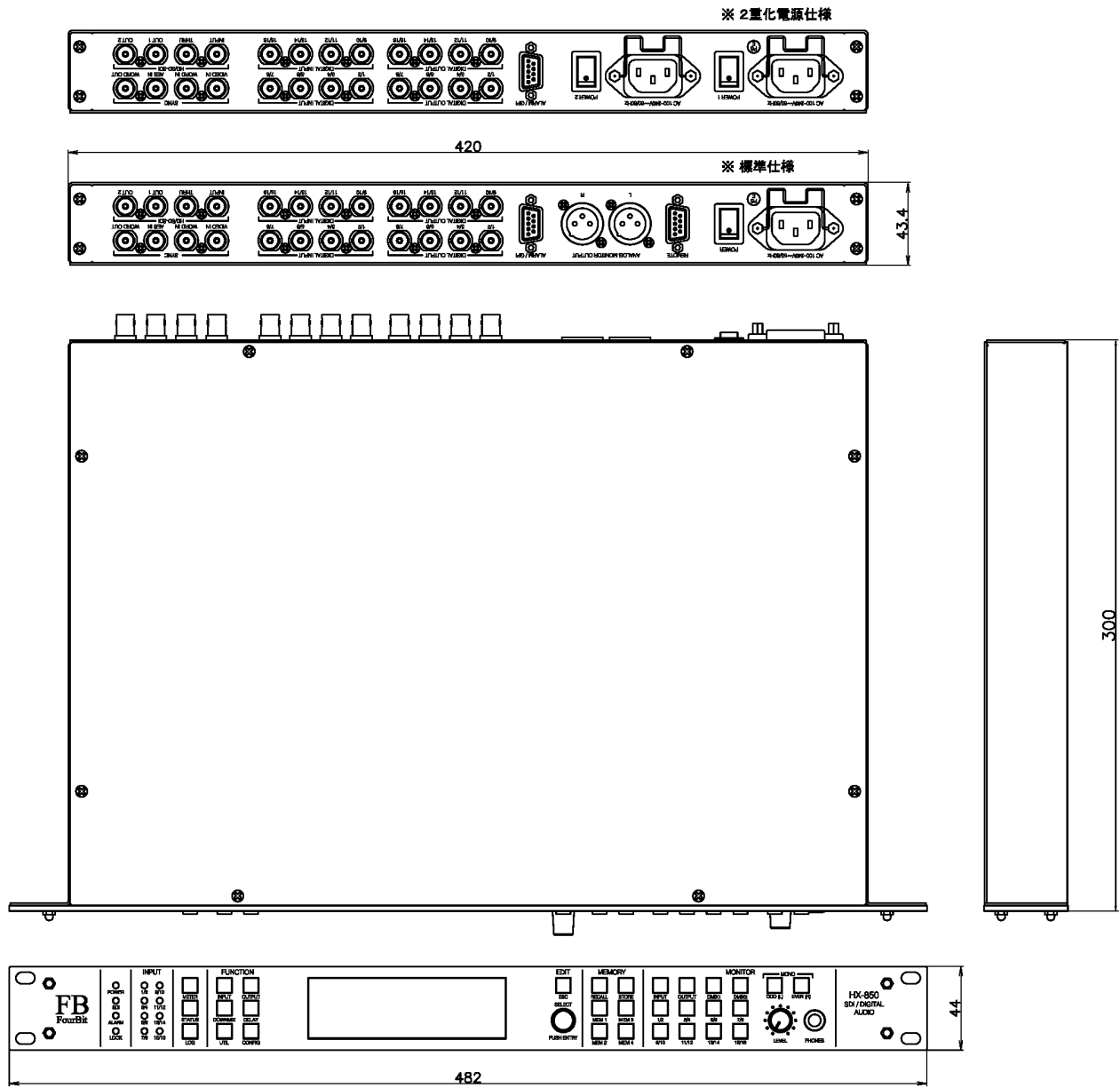
--- CONFIG ---                               Ver1.00 '10-10-15
MASTER CLK: WORD IN   MONI MONO : ST MONO
INPUT REF : -20dBFS   RTC SET: 2010-10-15
LOG START : 0m10s     16h21m43s
POWER UP  : LAST     INITIALAIZE : OFF
  
```

- [MASTER CLK] : マスタークロックの設定を行ないます。
 VIDEO = ビデオ入力信号を選択。(NTSC/PAL は自動判別)
 WORD IN = ワード入力信号を選択。
 AES IN = 同期用 AES-3id 信号を選択。
 IN 9/10 ~ 15/16 = INPUT 9/10 ~ 15/16 の入力信号を選択。
 INT = インターナルクロックを選択。
- [INPUT REF] : 入力信号のリファレンスレベルを設定します。(-20dBFS / -18dBFS)
- [LOG START] : 電源 ON から LOG 記録開始までの時間を設定します。LOG 開始時には、LOG スタートの他、マスタークロック状態、電源状態が LOG 記録されます。
- [POWER UP] : 電源 ON 時にリコールされるメモリーを選択します。
 MEM1 ~ 4 = MEMORY の MEM1 ~ 4 をリコールして起動。
 LAST = 前回の電源 OFF 時の状態で起動。
- [MONI MONO] : モニターの MONO (ODD/EVEN) 操作でのモニター出力状態を設定します。
 ST MONO = モニターの L/R の両チャンネルでモニターします。
 SINGLE = モニターの L/R の片チャンネルのみでモニターします。
- 「RTC SET」 : LOG 記録で使用するリアルタイムクロックの日付 / 時間設定を行ないます。時間部分は、24 時間制になります。
- 「INITIALAIZE」 : 本機をデフォルト状態 (初期設定) に戻します。

系統図



外観図



仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。